陸平通信

OKADAIRA
第Ⅱ期128号
2026年12月1日発行
編集･発行/茨城県稲敷郡美浦村大字土浦2359
美浦村文化財センター（陸平研究所）
☎ 029-886-0291　FAX 029-886-0471
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

常陸国絵図オリジナル風呂敷!



江戸時代の茨城－常陸国－を描いた絵図を風呂敷にした新たなオリジナルグッズができました！

令和６年に美浦村登録文化財として登録された「貞享３年神内郷慶城院争論裁許史料」のひとつにこの常陸国絵図があります。江戸時代、土地等にかかわる争論の場合には裁判の結果を絵図と文章で表します（裁許絵図）。この国絵図は鮮やかな色彩で描かれていて、裁許絵図の写しとともに争論に関わる史料として村内で保管されていました。いつ誰が描いたものかはわかっていませんが、絵図に描かれている内容や文字から徳川家光の正保年間（1644 ～ 1648）に作成された常陸国絵図を写し取られたものと推定されます。

国絵図は幕府が各国に提出させましたが､明暦の大火（1657 年）による江戸城火災で失われてしまいました。そうしたことからもこの絵図が貴重な史料であることがわかります。国絵図には山や川、城、街道、神社仏閣など様々な場所が描かれ、地名も書かれています。もちろん美浦村も描かれています。どうぞ広げて江戸時代の常陸国の姿をご覧ください。

風呂敷は美浦村文化財センターにて取り扱っています。１枚 2,500 円。大きさ 100 × 98㎝。限定 40 枚。

今も昔も変わらぬ影を落とす貝塚陸平の月　（日和吟社俚謡集より）

石神庄左衛門家文書の世界

～村役人所蔵の文書史料は語る～①

このたび『美浦村古文書目録 第三集 石神庄左衛門家文書』が刊行されました。古文書から知る江戸から明治時代にかけての安中地域を中心とした美浦村の歴史を今号よりご紹介します。

（一）史料整理の成果→所蔵目録へ

美浦村土浦の石神庄左衛門家は、江戸時代の後半から常陸国信太郡土浦村の村役人（百姓代・組頭・名主）を代々務めていた事が、当家に現存する様々な歴史史料の内、今回整理作業をさせていただいた約四千点余の古文書史料によって判明しました。

整理済史料の詳細は、今回美浦村教育委員会から刊行された『美浦村古文書目録　第三集　石神庄左衛門家文書』（二百頁余）を参照していただきたい。

さて、本目録公刊の意義を知ってもらいたい、さらに古文書史料の整理による全体像の把握の大切さ、及び、今後の本文解読と記述内容の関連調査の進展により、細部にわたる郷土の歴史の更なる解明と、その蓄積の為の糸口となればとの思いから、今回の整理作業を通して見えて来た近世の安中周辺をめぐる歴史の新たな一面をいくつか紹介したい。



（二）旧家史料→郷土史解明へ

近世の村役人、特に名主を代々勤めた旧家は、日常生活の場である母屋以外に別棟の土蔵や書院を屋敷内に有する場合が多い。そして、古文書等の歴史史料を所蔵しており、その整理・調査が出来ると、公的性格も多分に有する史料が大半を占めており、その地域の新たな歴史を物語る場合が多い。また、私的な史料であっても、その時代や地域を雄弁に語ってくれる内容を包含している場合が多いのである。

その視点から見ても、石神家文書は正に典型であった。また、既刊の『美浦村誌』及び史料集の編纂事業の過程では未発見であったので、安中周辺の歴史に新たなページを加えるのみでなく、美浦村を含む茨城県南地方の歴史にも厚みを増す内容の歴史史料が含まれていたのである。



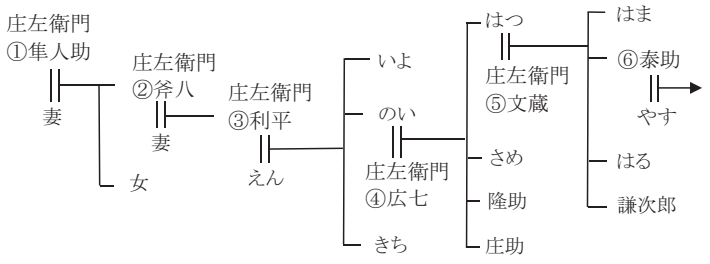
▲1987年当時の石神庄左衛門家。主屋の右手に式台玄関や書院があり、当地域にみられる名主の屋敷構えがうかがえる。
（石神家所蔵写真より）

（三）家の歴史を知る方法

多くの人が、「わが家のルーツは？」との関心を持っていると思います。その願いをかなえる方法とは、①明治時代以来の戸籍謄本を取り寄せてまず直近の先祖を調べる。②お盆やお彼岸等に線香をあげる仏壇の位牌や墓石に刻まれた戒名や没年月日等を調べる。③香奠帳も有力な史料であり、お寺に残されている過去帳の記載事項と照合して、戸籍制度ができる以前の先祖を探る方法もある。④稀にではあるが、江戸時代の村の記録でもある村役人等の所蔵史料（宗門人別帳や検地帳等）が残されていると、事前の調査で判明した屋号や家紋や伝承等と照合して、更に関連する情報（家族や土地保有状況等）が入手できる場合がある。ただし、既刊の市町村史の史料編があれば、活字化されているので調査の進展が容易であるが、公刊されていない時は、古文書史料の解読から始めなければなりませんが、家のルーツ解明の大きな成果が期待できる。

石神家については、以上の様な方法により、江戸時代中頃、約三六〇年前の宝暦年間（一七五一～一七六三）の隼人助と称した十一代前の先祖まで探り当てることができました。そして、代々庄左衛門を襲名し、寛政八年（一七九六）、天保三年（一八三二）、天保九年（一八三八）から明治まで、代々村役人になった事も判明した。

平田 満男（美浦村文化財保護審議委員）



古文書から作成した略系図

目録の分類項目

1 支配
2 村政
3 絵図類
4 訴訟
5 土地
6 宗門人別帳
7 奉公人
8 租税
9 証文
10 質物
11 諸産業
12 水利
13 社会
14 寺社
15 受取証領収書類
16 金銭出入
17 狂歌類
18 通信（手紙書状類）
19 旅日記
20 書籍印刷物
21 御神札

『美浦村古文書目録』刊行のお知らせ

『美浦村古文書目録』第３集が刊行されました。

目録は個々の古文書を説明したものではなく、どのような古文書があるかというリストのようなもので、少し専門的な本になります。中央公民館図書室にて閲覧できるほか文化財センターで実費頒布しています。１部 2,000 円。

歴史講座　石神家文書の世界 ～名主文書から郷土の歴史をさぐる～

古文書からわかってきた地元の歴史を知る講座です。

申込みが必要です



◆日　時　令和９年１月３０日（土）　午前１０時～１２時
◆場　所　文化財センター　　**◆募集人数**　５０名
◆講　師　平田 満男 先生
◆申込み　１月２４日までに文化財センターへ　　※当日、資料代として実費負担あり。

秋晴れの陸平で体験や音楽を楽しみました！

おかだいら縄文フェスタ 2026

さる10月10日（土）、11日（日）に陸平貝塚公園で「おかだいら縄文フェスタ2026」を開催しました。10日は陸平ならではのさまざまな体験や見学ツアー、11日は陸平をヨイショする会主催の縄文の森コンサートが開催されました。土器作りに熱中する人、一日体験を楽しむ人等々、2日間子どもから大人まで多くの人が陸平貝塚にきてくれました。

オカリナの音色が陸平に響き、天候に恵まれたおだやかな秋のイベントでした。

次回の陸平貝塚の体験イベントは5月に開催の予定です。お楽しみに！


▲縄文クッキー作ってます！


▲大人も弓矢に夢中


▲コンサートではオカリナに合わせて歌うコーナーも。

梅朝基礎落語

解説つきで落語を楽しみましょう！

予約不要 **入場無料**



◆日にち 12月5日（土）
◆開　演 午後1時30分から
◆場　所 文化財センター
◆出　演 好文亭梅朝

※当日、直接文化財センターにお越しください

ミニ門松つくり

自分で作った門松で新しい年をむかえましょう。

申込みが必要です



◆日 に ち 12月26日（土）
◆時　　間 ①午前10時～12時
②午後1時～午後3時
◆場　　所 文化財センター
◆募集人数 午前午後各6名※①②は内容同じ
◆体 験 料 ５００円
◆申込受付 文化財センター
12月10日から（先着）

＜情報をお寄せください！＞

美浦村の歴史に関する資料を探しています

文化財センターでは、地域の歴史に関する資料を収集・保存し、後世に伝える活動を行っています。美浦村の歴史に関する古文書や絵図、地図、写真、古い襖（古文書が使われている場合があります。）などがありましたら、お気軽に文化財センターへご一報ください。

また、鹿島海軍航空隊に関する体験や写真、情報などもお寄せください。

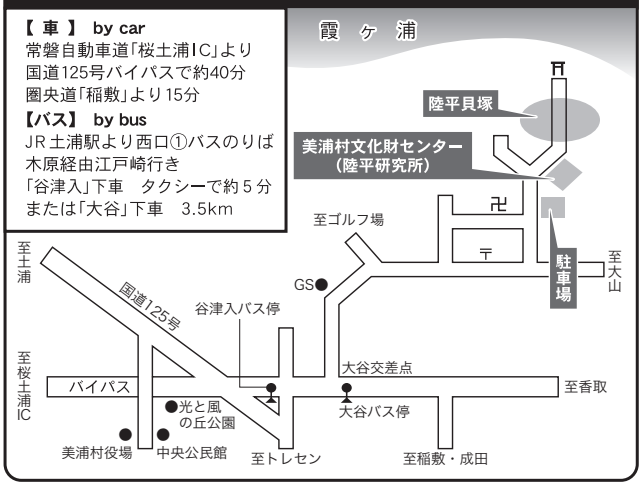
常時受付中です。



陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car
常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus
JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車　タクシーで約5分
または「大谷」下車　3.5km



◆お問合せは、文化財センターへ
☎029－886－0291